

看板からまなぶ

生活英語

赤井田拓弥 監修

ナラボー・プレス 編著

習熟度がわかる

webテスト

が受けられます

サンプル版

PDF 版

ダウンロード専用コンテンツ

ナラボー・プレス

PDF 版電子書籍 ユーザーガイド

ナラボー・プレス ブックスの電子書籍は DRM フリー形式の PDF です。本書をお楽しみいただく前に、以下の注意事項をご参照ください。

■ 使える環境が整っている方におすすめします

ナラボー・プレス ブックスの電子書籍をご購入の前に、ご自身の環境で十分に楽しめるかどうかをご確認ください。使い方やダウンロードの仕方が分からないとかスマホなどへの保存が自分ではできないという方には購入なさらないでください。またナラボー・プレス ブックスでは、使い方や設定の仕方についてのご質問にはお答えすることができませんので、あらかじめご了承ください。

■ 複製などについての注意事項

ナラボー・プレス ブックスの PDF には、コピー制限などを特に設けていません。個人の利用に限り、ご自身の様々なデバイスにデータをコピーし、閲覧していただけます。自宅の PC にデータを保存してゆっくり勉強とか、スマホなどにデータを保存して、通勤・通学の途中での勉強など、様々な形でお楽しみいただけます。

データのコピーなどについては、以下の点にご注意ください。

- ・電子書籍の著作権は執筆者にありますので、許可を得ない第三者への配布など、他人へのコピー、譲渡、共有したりすることは、すべて著作権法および規約違反です。不正な利用が見つかった場合は必要な措置を取らせていただきます。
- ・当サイトで販売される電子書籍には、いわゆる DRM はかかっておりませんが、個人を識別できる情報を埋め込んでおります。

電子書籍についての詳細はブックストアのユーザーガイドもご覧ください。

https://www.nullarbor.co.jp/bookstore/user_data/FAQ

詳しい利用規約は、ブックストアの利用規約をご覧ください。

<https://www.nullarbor.co.jp/bookstore/help/agreement>

データの不備などありましたら、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://www.nullarbor.co.jp/bookstore/contact>

英語上達のカギは生活英語力です。

英語圏に短期（数か月くらい）の語学留学をした人たちが、帰国後によく次のように言います。

「留学中に覚えた単語数がそんなに増えたとは思えない。文法力が格段についたり読むスピードが上がったりしたわけでもない。だけど、自分の英語力はなんか伸びたなあとと思う」

英語力が伸びたと感じる要因は何でしょうか。それは、「生活英語力」です。

「生活英語」って、何？

「生活英語」って何でしょう？

『外国語上達法』（千野栄一、岩波新書、1986）という本に、「外国語習得に必要なもの」として、次のようなものが挙げられています。

- (A) 語彙 (B) 文法 (C) 学習書
- (D) 教師 (E) 辞書 (F) 発音
- (G) 会話 (H) レアリア（生活言語）

最後の「レアリア」について、千野氏は次のように述べています。

レアリアというものは、学問のように体系だったものではない。しかし、その蓄積は常識の一部をなすものであり、外国語の上達のために必要な、その外国語が話されたり書かれたりした背景のレアリアに通ずるということとは、とりも直さず広い知識が要求されるということなのである。

—中略—

とりわけその言語が外国語であれば、母語の話し手が持っているレアリアに絶えず近づくことによってレアリアの量が増し、よりよくその外国語が理解できるようになるのである。そこでその外国語を支えている文化、歴史、社会……という様々な分野の知識を身につけておけば、それは外国

語の理解の際に、まるでかくし味のようにあとから効いてくるのである。
(p.192-193)

例えば「ゆうべポチが家に上がって来ちゃってねえ」と言えば、日本人なら即座に次のように解釈するでしょう。

「ふだんは外で飼っている犬が家に上がってしまい、足についた泥で畳を汚してしまった」

これが上で述べている「レアリア」だと言えます。つまり、その文化と言語に十分になじんだ人たちには、言葉に直接には述べていないことが理解できるわけです。

「バンパーステッカー」を知っていますか。車のリアウィンドウやバンパーに貼るステッカーで、いろいろなスローガンやことわざ、ジョークなどが書かれています。

例えば、次のようにユーモアに富んだジョークもあります。



Cover me!
I'm changing lanes.

この英文には、むずかしい単語も文法も使われていません。ほとんどが日本語にもなっているような単語です。イディオムも使われていません。

また、文法も簡単です。**Cover me.** は命令文ですし、**I'm changing lanes.** は近未来を表す現在進行形で、いずれも中学校で習います。

ですから、この英文の意味が分からないとしても、単語不足や文法力不足ではないこととなりますね。では、何が原因なのでしょう？ これこそが「生活英語力不足」ということになるでしょう。

このステッカーの意味は、次のような感じです。

「これから車線変更をしようと思うんだけど、私はヘタだから、心配なの。追突されるかも。私の車の後ろを走っているあなた、私といっしょに車線変更して、もし追突されるようだったら、あなたの車が犠牲になって」

Cover me! は、西部劇の銃撃戦のシーンなどで出てきたりします。敵陣に近づくために数メートル先の物陰に走っていくときに、仲間に向かって言ったりしますね。

本書では、アメリカやオーストラリアなど、英語圏での交通標識や看板、掲示板などの表現を使い、その意味、使われている文法、その背景や使い方などを学習していきましょう。英語の表現の楽しさが、きっとお分かりいただけることでしょう。

無料のサンプルクイズをお試しください

本書をご購入いただくと、習熟度がわかる **web** テストが受けられます。

本書で学んだ看板や標識などの英語表現を見て、その内容を表している日本語を 3 択から選びます。

下記のリンクから **web** テストとまったく同じ形式のサンプルクイズをお試しいただけます。全 10 問です。

本書の学習内容をお試しください。

【サンプルクイズへ】

2. No Turn on Red



赤信号での右折禁止

この標識には **turn** だけで **right** や **left** は付いていませんが、アメリカの標識なので、これは「右折 (**right turn**)」のことですね。

日本でも、ときに「常時左折可」になっている交差点がありますが、アメリカでは、ほとんどの州で「常時右折可」で、赤信号であっても、左をよく見て車が来ていなかったら右折できます。

直進するつもりなのに、いちばん右側の車線を走っていて、上のような標識がない「常時右折可」の交差点で信号待ちをすると、後ろから「どけ！」というクラクションを鳴らされたりします。

そうなると、左側車線にそろりそろりと寄せながら、交差点に少しずつ進入せざるを得なくなり、怖い思いをします。

日本では、直進するつもりでいちばん左側の車線を走っていて、赤信号で止まっても問題になることはほとんどありませんが、アメリカでは、直進するつもりだったら、いちばん右側の車線は避けておきましょう。

この標識がある交差点では、赤信号で右折することができませんから、直進するときにはいちばん右の車線を走っていても問題ありません。

日本の信号はふつう横に並んでいます、アメリカでは、写真のように縦に3つ並んでいるのがふつうです。

4. No Parking Any Time



常時駐車禁止

車社会のアメリカ。大都市では駐車場の数より車の台数のほうが圧倒的に多いので、街の至るところに、このような標識があります。

日本人の居住者や旅行者が多い、カリフォルニア州ロサンゼルスの場合、LADOT (Los Angeles Department of Transportation =ロサンゼルス交通局) のサイトによると、2021年現在の平均的な駐車違反切符の反則金は68～78ドルとなっています。

これで「あ、そんなに高くないな」とあなどってははいけません。駐車違反といってもいろいろな種類があり、高額な反則金を求められる駐車違反には、次のようなものがあります。

Parking in a bus loading area.

「バス停付近での駐車違反」

— 976 ドル

Violation of disabled parking provisions, first offense.

「身体障害者用駐車スペースへの駐車違反 — 初犯の場合」

— 976 ドル

Violation of disabled parking provisions, second offense.

「身体障害者用駐車スペースへの駐車違反 — 再犯になると」

— 1,876 ドル

1 ドル 100 円で計算しても、19 万円近い反則金です。十分に注意しましょう。

7. Do Not Block Drive



進路妨害不可

この写真は、店やレストランの搬入口などに掲示されている標識です。個人の住宅の私道の入口で見かけることもあります。**block** は「ふさぐ」という意味で、**drive** は、公道からの引き込み線などをいいます。**driveway** ともいいますね。

また、**drive** は、ふつうの公道の名前として付けられることもありますが、ここでは「引き込み線」のことです。

この標識に小さく書かれている **Violators will be towed at owner's expense.** は、「違反者は、所有者の費用でレッカー移動します」ということです。(写真の **Violaters** は **Violators** の間違いです。)

また、掲示では **OWNERS** となっていますが、「所有者の」という意味になるべきですから、文法的には **owner's** のようにアポストロフィを付けます。

語句の解説

violator「違反者」

→「違反する」という動詞形は **violate** です。

tow「レッカー移動する」

→「レッカー車」は英語で **tow truck** といいます。日本語の「レッカー」はイギリス英語の **wrecker**（壊す人、解体業者）から来ています。
wreck は「壊す、台無しにする」という意味です。

expense「費用」

Do not を使った掲示

「～するな」という掲示は、初めに出した **No Parking** のように〈**No** + 動名詞〉が多いのですが、ときどき、この写真のように **Do Not** で始まる表現も見かけます。

なんとなく、**Do Not** のほうが強い禁止のように感じられますね。**No** + 動名詞を使って強く禁止する場合は、**Strictly No Smoking** のように表現します。

13. Service Vehicles Only



業務用車輛に限る

デパートやレストラン、工場などの資材搬入口に通じる引き込み線の入口などにある掲示です。つまり、「一般車両は進入禁止」という表示です。

下に **Beyond this point.** とあります。「これより先」ということですね。

service という言葉

「サービス」と言うと、日本では「顧客が受けるもの」や「無料のもの」を指すことが多いですな。

英語でも、「接客、もてなし」という意味で同じように使われることもありますが、最も一般的なのは「勤務」や「業務」という意味です。postal service（郵便事業）というように「公益事業」を指す時にも使われます。

次の写真も同じ意味ですね。ここでの **drive** は **driveway** (私道、引き込み線) というより、「運転、車両」という意味合いでしょう。



1. No Trespassing.



立ち入り禁止

これは非常によく見かける表示です。property は「財産」です。trespass は「不法侵入する、不法に侵害する」という意味です。

次のように「訴えますよ」という表示もよく見かけます。



Private Property 私有地

No Trespassing 立ち入り禁止

Violators will be prosecuted 侵入者は訴えます

背景

No Trespassing という表示は、空き地や広い住宅地など、いろいろな場所で見られます。交通標識以外では、最も多く見られる標識のひとつでしょう。

アメリカの歴史は、未開の土地へ進出してそこを自分の持ち物だと宣言し、それを侵す者は武力を使ってでも排除することの繰り返しだったと言えるでしょう。

こうした意識は現代でも深く浸透しており、自衛であれば武器を使っても罪に問われないということもあります。1992年10月に、ルイジアナ州バトンルーージュで日本の高校生（服部剛丈さん）が銃で射殺された事件のときも、「正当防衛」ということで、刑事事件としては無罪になってしまいました。

No Trespassing という掲示のある場所にうっかり入ってしまい銃で撃たれたとしても、何の補償もなく「撃たれ損」ということになってしまいかねません。十分に注意しましょう。

語句の解説

property 「敷地」

→ 似た単語に **premises** があります。「家屋、敷地」という意味ですが、ふつうは、敷地に建物があるものをセットで言います。ただ、片方、つまり敷地だけや家屋だけでも使うことができ、その場合でも **premises** と複数形になります。

trespass 「不法に侵害する、不法侵入する」

prosecute 「起訴する、告訴する、…を（法的に）請求する」